日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	応用化学	
科目基礎情報					
開設学科	環境・バイオ科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	プリントを使用				
担当教員情報					
担当教員	野崎 甚司	実務経験の有無・職種	有・研究員		
学習目的					
<p>社会問題や課題を解決するために化学がどのようにかわることが出来るかを考える。さまざまな分野（環境、化成品、化粧品、食品、化学工業の安全管理など）のトレンドや問題点についての知識を増やし、問題意識を持つことと、これまでに学んだことをベースにして解決策を考えることが出来るようになることが目的である。</p>					
到達目標					
<p>社会問題や課題を解決するために化学がどのようにかわることが出来るかを考える。さまざまな分野（環境、化成品、化粧品、食品、化学工業の安全管理など）のトレンドや問題点についての事例紹介を元に、自分達ならどのように解決していくかを考え、そのために必要なモノ、ヒト、カネをどのように使うのか、を考えることが出来るようになる。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>社会情勢を踏まえ、農芸化学・工業化学・薬化学などの応用化学について全般的に学びます。さまざまな分野（環境、化成品、化粧品、食品、化学工業の安全管理など）について事例紹介に引き続き、小グループによる調査・討議・発表をおこなう。これにより様々な問題は複雑に絡み合っていることを理解できる。</p>				
注意点	<p>授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーと能動的な学習姿勢で授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は取得ができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験を実施する		
	小テスト				
	レポート	30%	各回のレポートを提出する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
	その他	20%	グループ討議後の発表内容		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス	本講義の進め方について理解し、討議に参加できるようになる			
2回	環境分野（海洋プラスチック、マイクロプラスチック問題など）	環境分野のトレンドについて問題意識を持てるようになる			
3回	環境分野（認証パーム、認証カカオなど）	環境分野のトレンドについて問題意識を持てるようになる			
4回	化成品分野（内燃式自動車の廃止とその社会的な影響など）	化成品分野のトレンドについて問題意識を持てるようになる			
5回	化成品分野（リチウムイオン電池の原理とリチウム資源など）	化成品分野のトレンドについて問題意識を持てるようになる			
6回	化粧品分野（リップ化粧品、フレグランスについてなど）	化粧品分野のトレンドについて問題意識を持てるようになる			
7回	食品分野（味覚と嗅覚、テクスチャーについてなど）	食品分野のトレンドについて問題意識を持てるようになる			
8回	化学工業分野（安全管理と事故例について、品質保証と偽装など）	化学工業分野のトレンドについて問題意識を持てるようになる			